

# AREA 1

## 秩父エリア

荒川の上流には長瀬ライン下り、武甲山をはじめとする雄大な山々、秩父湖など変化に富んでいる地域。

[埼玉県] エリアマップ



**●新柏木橋** このタイプの形式は、方杖ラーメン橋、あるいはパイ型ラーメン橋とも呼ばれます。ラーメン、パイとまるで料理名みたいですが、パイ型はギリシャ文字のπに似ていることからつけられたもの。軽快な印象を与える点と、単位面積当たりの重量が少なくすむ点の特徴。



### ●秩父橋

2橋仲良く並んでいる秩父橋。アーチが美しい旧橋は、昭和5年に架けられ長い間市民に親しまれてきましたが、今では秩父の風景を楽しむ遊歩道として利用されています。一方ちょっと風変わりな新橋は、県内で初の斜張橋として架設。優れた景観と構造的な特徴から、昭和61年に土木学会田中賞を受賞しています。このように片側からケーブルで橋桁を支えているスマートなデザインの斜張橋もあるんですね。

**●巴川橋** 深い谷に架かることから自然景観にマッチするように、アーチ部材と車の荷重を受ける桁部材とを網状のケーブルで結ぶニールセンローゼ橋が選ばれました。本橋は県内初のニールセン橋で、現地で架設された橋の中では日本最長のものです。



橋の種類にはどんなものがあるだろう。アーチ橋、トラス橋…名前だけ聞いてもピンとこない。実際に見るなら絶対ここ秩父エリアがおすすめ。景色も変化に富んでいるけれど、そこに架かる橋もまた、形式いろいろ。まるで「橋の博物館」のようだね。

秩父は橋の博物館だ！



**●大洞橋** 橋の上に立つと湖面に映る緑の山々が美しく、思わず時間を忘れてしまいそう。吊橋としては最も原始的な形状で、湖の兩岸にケーブルを定着させてそのケーブルから吊り材を垂らし、床部を支える方法をとっています。



**●雁坂大橋** “開かずの国道”と呼ばれ、交通不能区間となっていた国道140号の埼玉県最奥部に架かるトラス橋。風光明媚な秩父多摩国立公園内に位置するため、周囲の景観を考慮して塗装色は、地元の方々や専門の方々によりビビットイエローが選ばれました。

### ●豆焼橋

標高約1,000mの高所に谷底まで約120mの深さがあるV字型渓谷。こうした場所に適している形式が逆ローゼ橋で、上部からかかる荷重を主にアーチ型の部材で支えるというものです。この橋から眺める奥秩父の紅葉は実に感動的。



### ●安谷川橋梁

大正時代、秩父鉄道が安谷川の渓谷にかけた大変古い鉄道橋。ボルチモアトラスと呼ばれる形式で、部材の結合点をよく見るとピンでつながっているのがわかります。歴史的に価値の高いこの橋、マニアの間では有名な撮影ポイント。キミも行って、SLが渡る写真を撮ってみては？



### ●日野鷲橋

平成3年度に完成したばかりの、トラスドラッグー橋という形式の橋です。アーチと桁をつなぐ部材が三角形に組まれた形状をしており、頑丈で揺れの少ないことが特徴。近代的なイメージでありながら自然にもマッチする、秩父リゾートのアクセス道路にふさわしい橋です。



エッセイ、橋博士

県内で最も高い所にあるのは国道140号雁坂大橋(大滝村)で、標高約1080m。一方最も低い所にあるのは、川口市道橋橋(川口市)で、標高約3m。

# 1 秩父エリア

詳しい行き方は、「彩の国の主な橋一覧」にあります。照らし合わせながら訪ねてみよう。地図中の橋の色は、「橋の形式」の色と対応しています。調べてみるとおもしろいよ。

●=桁橋、●=ラーメン橋、●=トラス橋、●=アーチ橋、●=斜張橋、●=吊橋

## 【橋立鍾乳洞】 秩父市

はしだてしようにゅうどう  
巨大な石灰岩の壁に口を開いている橋立鍾乳洞は、あちらこちらに鐘乳石や石柱などが見られ、キクガシラコウモリやウサギコウモリなどが生息している。県指定の天然記念物。洞内の石には「弁天」「大黒」など神様の名前がつけられていて、神秘的な感じ。ひとつひとつじっくり観察しながら、アドベンチャー気分を味わおう。



## 路線と記号

私鉄	国鉄	一般国道	主要地方道	一般道	有料道路	通行不能道路	計画路線	夜
○	○	○	○	○	○	○	○	○



## 【長瀬ライン下り】 長瀬町

ながとろ くだ  
1年間に約30万人の利用者があるという長瀬のライン下り。荒川の流れて削られてきた岩壁では、コマツナ、メドハギ、カルカヤなどの多年草やコケ、低木のユキヤナギなどが観察できる。また、対岸の秩父赤壁と呼ばれる高さ100m、幅500mにも及ぶ絶壁を流れ落ちる明神の滝はみごと。雄大な自然も満喫できて、スリルも満点のライン下りは、ぜひ一度体験してみる価値あり。



## 【秩父ミュージックパーク】 秩父市

ちちぶ  
秩父ミュージックパークは、スポーツの森ゾーン、センターゾーン、文学の森ゾーンの3つを長さ3kmの大遊歩道で結んだ、新しいタイプの大型プレイスポット。施設には、600人収容の音楽堂、6000人収容の屋外ステージ、秩父市街が一望できる展望台などがあります。ほかにも、屋外の流れるプールや、冬季にはアイススケートにかわるローラースケートリンク、宿泊施設（コテージ）などの民間施設もそろっています。



なかつぎょう  
【中津峡】 大滝村  
名勝地として県より指定されている中津峡。岩のところどころに根づく自然樹木が、屏風のように広がる「巖岩」をはじめとし、清らかに流れる「三条の滝」、吊り橋の真下の「霧瀨」、白泡をかき立て流れる「ヤトウロクの渓流」など優雅な渓谷美を満喫できます。